

喘息

患者様情報

来院されるまでの症状

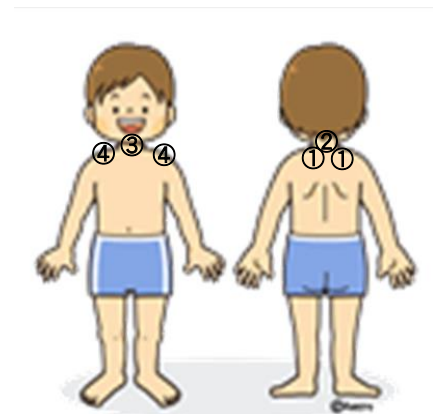
- ・咳が一度出ると止まらず、眠ろうとしても眠れない日が続いていました。
- ・1歳頃から症状があり、ひどい時はゼイゼイと喘鳴を繰り返し苦しそうでした。
- ・寒くなってきたこの1週間、昼夜問わず咳がひどくなってきたということで、お子さんを連れて来院なさいました。

患 者 様	5 歳 男性
初 診	2014 年 11 月
既 往 症	なし
他 の 症 状	胃腸不良 下痢

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・ご本人は寒がりということで、からだ全体に冷えもありました。
- ・背中の筋肉と肩甲骨の間、首周りがかなり硬く緊張していたので、そこを緩めるよう施術しました。
- ・特に咳をして硬くなってしまう背中の起立筋と呼吸を補助する胸鎖乳突筋を集中的に緩めました。
- ・胃腸不良もありましたので、腰周りとお腹の力のないところを補強する施術を行い、全体のバランスを整えました。
- ・お子様ですので、以上の施術につきましては、すべて子供用の鍼で軽くさすように行いました。



■ 初診後の経過

- ・1週間後に、お祖母様が来院なさいました折にご本人の様子を伺いましたところ、診療当日の夜はとてもよく眠っていて、翌日から咳が治まったとのことでした。

使用した主要なツボ

- *①肺俞(ハイユ) ②大椎(ダイツイ)
③天突(テントツ) ④中府(チュウフ)

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・喘息は、咳込みが睡眠を妨げ体力を奪います。また、からだの冷えや強張りを常態化させ、喘息を引き起こしやすくするという、悪循環に陥りやすい疾患です。少しでも症状が出たら早めに受診されることをお勧めします。
- ・気温差でも咳を誘発しますので、背中、お腹を中心に冷えないよう気をつけてあげてください。
- ・喘息発作が起きたときの対処療法だけではなく、鍼灸などで自己免疫力や自然治癒力を高め、発作を起こさないための予防をすることも、大事な治療法のひとつです。